

～ 景観レポート ～

ちょうしんつうしん

Economic Report of Sales Territory

2025
秋

ウレシイ💖👻しんきん
Choshi Shinkin Bank

ちょうしんきん若志の会

経営者セミナー交流会2025 開催しました

2025年7月4日(金)石田丸会館(神栖市波崎町)にて、
「ちょうしんきん若志の会」の経営者セミナー
および交流会を開催いたしました。



本イベントは、若志の会会員の皆さま、第10期経営塾受講生の皆さま、金庫役職員を合わせた約150名にご参加いただき、株式会社オーダースーツSADA 代表取締役社長 佐田 展隆 氏による基調講演、続いて株式会社インクグロウ 代表取締役社長 鈴木 智博 氏との対談形式による講演が行われました。

講演会終了後には、交流会にも僅かな時間ではありましたが、講師の方々にご参加いただきました。

「ちょうしんきん若志の会」の交流会も昨年7月の発足式以来3回目の開催であることから会員様同士の交流も深まり、会場全体も大変盛況のうちに終了することができました。



1. 概 況

全体の景況感（全28店舗）

	好転	不変	悪化
前月と比較して	0	28	0
今後3か月程度の見通し	1	26	1

【漁業】

銚子港の令和7年8月の総水揚げ数量は18,015トンで、前年同月比+16,354トンとなった。
総水揚げ金額は2,129百万円で、前年同月比+1,582百万円となった。

【農業】

旭地区の以下品目の価格相場は、以下の通り。
ミニトマトMサイズ1パック辺り200g 高値150円 安値100円
キュウリ 1本 高値 40円 安値 30円
シシトウ 100g 高値210円 安値190円
青唐辛子 40g 高値 35円 安値 25円
※胡瓜は植え時期のため取扱い無し。
・各品目、酷暑が続いたため収穫不足となり、全体的に高騰。

【商業】

【銚子伝統製法しょうゆ「蔵出し」】

銚子市八幡町のヒゲタ醤油銚子工場で9月9日、江戸時代の製法を生かして年1度のみ限定生産する特別な醤油「玄蕃蔵(げんぱくら)」の完成を祝う蔵出し式があった。「今年も素晴らしい出来栄え」という醤油は全国各地の予約先へと届けられる。
同社によると玄蕃蔵は1991年に第1回の仕込みを始め、今回の蔵出しは33回目。1本450ミリリットル入り換算で計2万本分が完成した。例年5月からその年分の予約を開始し、今年分は事前予約で完売した。

【観光業】

【大網白里で大学生による地域交流⇒観光プラン】

4日間にわたり地域と本気で向き合い、大網白里市を盛り上げる地域共創プランコンテストが同市で開催中だ。学生団体「東大めぐりえこん。」が主催し、大学1～4年生20人が参加。観光プランの構築に向け、民宿に泊まりながら事業者らと交流し、最終日は練り上げられたアイデアを発表する。
学生団体によるコンテストの開催は同市で初めての取り組み。最終日にはプラン発表があり、審査員による選考を経て最優秀プランが決定する。選ばれたプランは実現も視野に活動が続くという。

<業種別天気図>

全 体	漁 業	水産加工業	農 業	商 業
				
建 設 業	観 光 業	不 動 産 業	養 豚 業	自 動 車
				

(前月と比較した当月の各業種の景況感を天気図で表示してみました。)



2. 主要業種別動向

■ 漁業・水産加工業

銚子港の令和7年8月の総水揚げ数量は18,015トンで、前年同月比+16,354トンとなった。
総水揚げ金額は2,129百万円で、前年同月比+1,582百万円となった。

勝浦港の令和7年8月の総水揚げ数量は1,031.7トンで、前年同月比+639.8トンとなった。
総水揚げ金額は607百万円で、前年同月比+422.3百万円となった。

【サバ需給ミスマッチ解消 石川から銚子・波崎へ】

日本周辺のマサバは現在、太平洋系群の資源が急減している。銚子漁港のサバ類水揚げ量は、2024年に7,542トンまで激減した。同港での1万トン割れは1992年以来。このため銚子・波崎地区は、全国屈指の凍結・保管能力がありながら、サバを保管する冷凍倉庫の稼働率が著しく低下している。

対して日本海側に分布するマサバ対馬暖流系群は、右肩上がりに資源量を増やしている。しかし能登半島地震の影響により、石川県内での大中型まき網船の水揚げは、金沢港に限定。ほかの漁業においても、被災した能登の港から金沢港に荷を集中せざるを得ない。

課題の解消に向け、石川県とJFいしかわ、まき網会社の輪島漁業生産組合は、今年1月に波崎水産加工業協同組合へサバの生鮮・陸上輸送を実施。3～4月には銚子漁港へ計6回、延べ18台の運送車両を走らせ、入札にかけた。

事業には国の特定水産物供給平準化事業を活用できることが決まった。産地相場は下げず、資源利用の平準化を図る目的だ。関係者は「水産業の成長産業化を目指し、同様に日本海と太平洋の産地間で抱えている需給課題解消の見本となれるよう実施していきたい」と、今秋以降の事業化を展望する。

銚子魚市場水揚げ高

銚子市漁業協同組合調べ

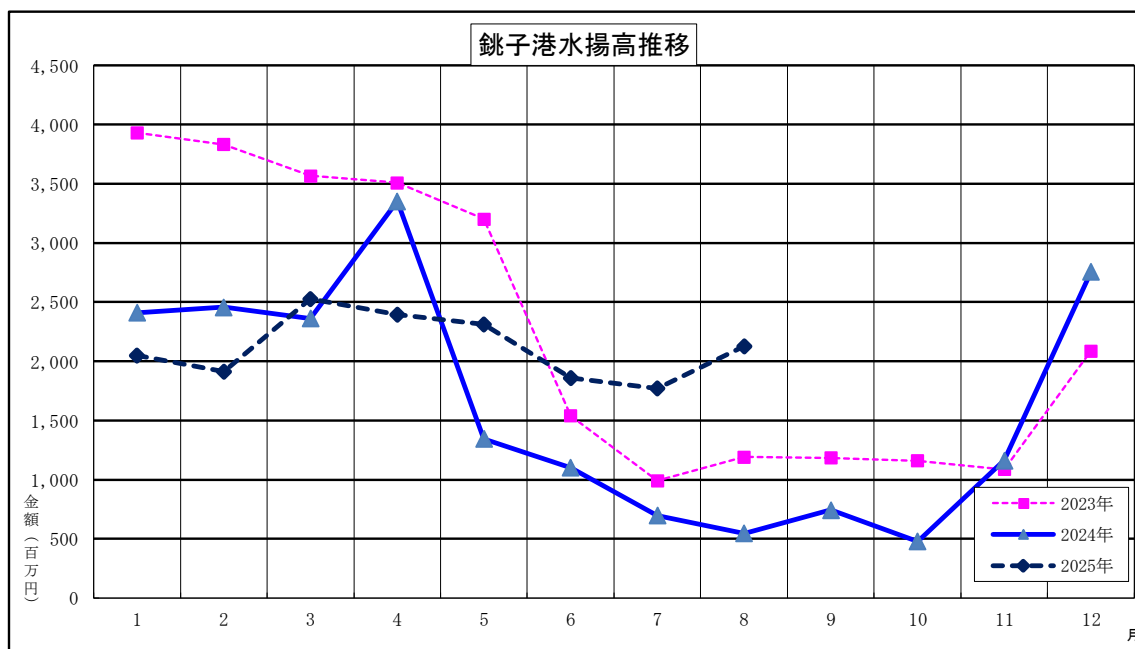
種類	区分	数量（トン）			金額（千円）		
		2025年8月	前年同月	前年同月比	2025年8月	前年同月	前年同月比
鰯		15,880	748	15,132	1,071,714	63,755	1,007,959
鯖		62	47	15	10,341	6,235	4,106
鰹		2	1	1	511	535	▲ 24
鰹・鮪		889	568	321	573,013	249,324	323,689
(内鰹一本釣)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
秋刀魚		0	0	0	0	0	0
底曳		0	0	0	0	0	0
その他		1,182	297	885	473,604	227,046	246,558
合計		18,015	1,661	16,354	2,129,183	546,895	1,582,288

前月比	数量	100.03%
	金額	120.26%
前年同月比	数量	1084.59%
	金額	389.32%



水揚げ日数

	2025年8月	2025年7月	2024年8月
鰯	10日	12日	7日
鯖	9日	4日	4日
鰹	1日	2日	14日
鰹・鮪	16日	14日	7日
(内鰹一本釣)	0日	0日	0日
秋刀魚	0日	0日	0日
底曳	0日	1日	0日
その他	17日	21日	21日



■ 農 業

旭地区の以下品目の価格相場は、以下の通り。

ミニトマトMサイズ1パック辺り200g	高値150円	安値100円
キュウリ 1本	高値 40円	安値 30円
シシトウ 100g	高値210円	安値190円
青唐辛子 40g	高値 35円	安値 25円

※胡瓜は植え時期のため取扱い無し。

・各品目、酷暑が続いたため収穫不足となり、全体的に高騰。

大きな自然災害等もなく生育状況が良好であったことから、6月頃までのキャベツ、夏季のトウモロコシについても順調な出荷状況で相場も大きな崩れはなかったと聴取。

■ 商 業

【銚子伝統製法しょうゆ「蔵出し」】

銚子市八幡町のヒゲタ醤油銚子工場で9月9日、江戸時代の製法を生かして年1度のみ限定生産する特別な醤油「玄蕃蔵(げんぱくら)」の完成を祝う蔵出し式があった。「今年も素晴らしい出来栄」という醤油は全国各地の予約先へと届けられる。

同社によると玄蕃蔵は1991年に第1回の仕込みを始め、今回の蔵出しは33回目。1本450ミリリットル入り換算で計2万本分が完成した。例年5月からその年分の予約を開始し、今年分は事前予約で完売した。

【銚子で落花生出荷スタート】

ゆで食加工用に適した品種の落花生が、銚子市で今年の出荷シーズンを迎えた。JAちばみどりの出荷施設「グリーンホーム銚子」で8月18日に目ざろえ会が開かれ、生産者ら関係者が出荷基準や作業の進め方を確認した。9月末までに例年並みの約35トンの出荷が見込まれる。レトルトパックや缶詰などの製品に使われるという。

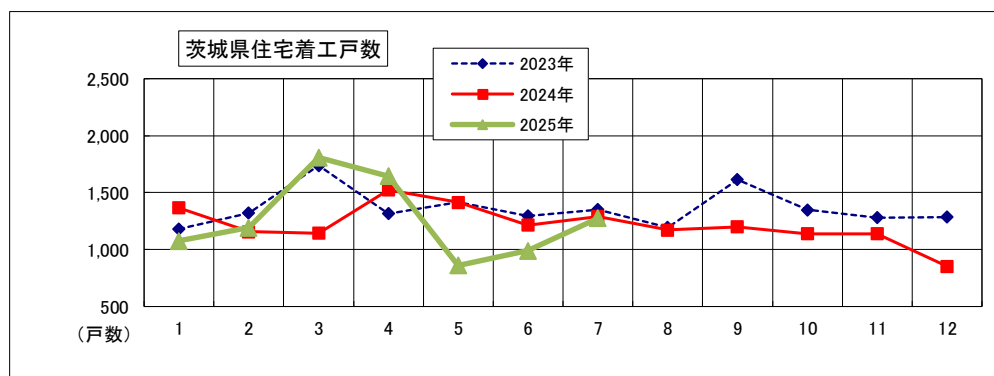
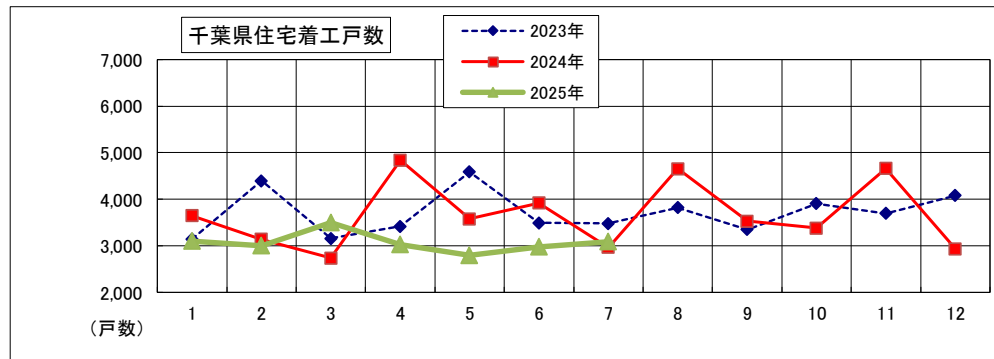
今年は8月17日から出荷作業が始まり、18日も新鮮な郷の香が洗浄され、出荷に向けた選別が行われた。台に盛られた殻付きを検査員たちが囲み、見た目や実の入り方などのチェックを進めた。県レトルト落花生製造連絡協議会や地域の会社へ送られる。

■ 建設業

令和7年7月の住宅着工戸数は、千葉県で3,092戸と前年同月比4.1%(+123戸)、茨城県では1,276戸で前年同月比▲1.2%(▲15戸)となった。
 前回報告月(令和7年4月)比では、千葉県で+66戸、茨城県では▲369戸となった

千葉県・茨城県の住宅着工推移は以下のとおり。

	2025年7月	2024年7月	増減
千葉県	3,092	2,969	123
茨城県	1,276	1,291	▲ 15



国土交通省統計情報より

■ 観光業

【大網白里で大学生による地域交流⇒観光プラン】

4日間にわたり地域と本気で向き合い、大網白里市を盛り上げる地域共創プランコンテストが同市で開催中だ。学生団体「東大めぐりえこん。」が主催し、大学1～4年生20人が参加。観光プランの構築に向け、民宿に泊まりながら事業者らと交流し、最終日は練り上げられたアイデアを発表する。

学生団体によるコンテストの開催は同市で初めての取組み。最終日にはプラン発表があり、審査員による選考を経て最優秀プランが決定する。選ばれたプランは実現も視野に活動が続くという。

【御宿の伊勢えび 直売やBBQ、10月まで土日祝日毎週催し】

9月から始まった御宿町最大級の食の祭典「おんじゅく伊勢えび祭り」の最初のイベント企画が9月13日、月の砂漠記念館前広場で開かれた。町の漁業と飲食・宿泊業の関係者がタッグを組んでの街おこしで、特産の伊勢えびを使って“御宿観光”を盛り上げる。祭りは約400グラムの大型サイズを限定セットで大盤振る舞いする10月5日の「ビッグイベント」など週末を中心に10月末まで開く。

祭りは町観光協会主催で、今年で26回目。目玉のビッグイベントは酷暑による熱中症予防のため、10月5日の1度のみ開催。人気の伊勢えびの詰め合わせセットは、通常の倍近くある約400グラムの特大サイズ2尾を5500円で先着100箱限定で販売する。このほか、1尾2000円で、200グラムサイズのエビをトングで捕まえる「つかみ取り」があり、その後500食限定でエビのみそ汁を無料配布する。

いずれも“エビ満載”の企画で、毎年約3千人を呼び込む人気イベント。

祭り期間中、協賛する宿泊施設では先着千人まで、宿泊客1人につき、伊勢えび1尾を使った料理が振舞われる。また、飲食店も特別メニューを提供する。

■ 不動産業

千葉市内においては商品数の減少、大手企業の進出により仕入価格の高騰が継続。商品が市場に出ても大手企業が適正価格以上を提示し、仕入競争の激化を招いている。都心付近の仕入価格が上昇している傾向であり、高止まりしている状況。

流山、松戸を中心に県内西部は人口流入により不動産ニーズは高い。住環境も良いため他県への流出率も低い。

商品物件の仕入価格が若干落ち着いてきている。

■ 養 豚 業・畜 産 業

令和7年8月の東京市場での豚枝肉(上)卸売価格相場は668円/kg(速報値)となり、前年同月比で▲97円/kgとなった。

令和7年9月の鶏卵(Mサイズ)卸売価格は314円/kgとなり、前年同月比で+58円/kgとなった。

独) 農畜産業振興機構／J A全農たまご(株) 統計情報より

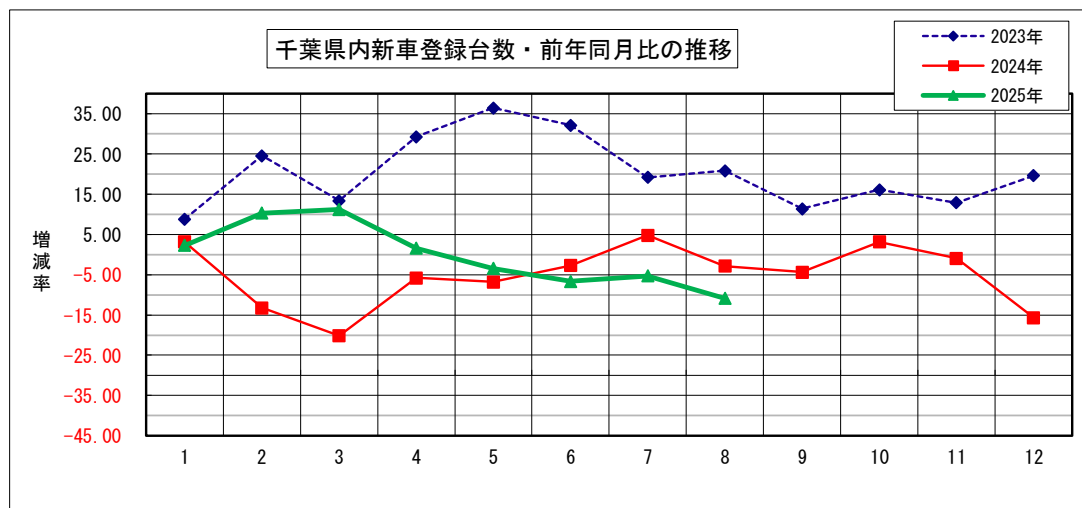
■ 自動車ディーラー

令和7年8月における千葉県内の登録車新車販売台数(軽自動車除く)は前月同月比10.9%減の8,623台(前年同月9,676台)と、4ヶ月連続で前年実績を下回った。

占拠率は1位がトヨタ(44.3%)、2位はホンダ(12.3%)、3位は日産(7.7%)となった。

千葉県内新車登録台数状況(軽自動車を除く)

		2025年8月	前 月	前 月 比	前 年 同 月	前 年 比
乗 用	普 通	4,970	6,804	73.05%	5,644	88.06%
	小 型	2,317	3,300	70.21%	2,555	90.68%
	小 計	7,287	10,104	72.12%	8,199	88.88%
貨 物	普 通	456	495	92.12%	539	84.60%
	小 型	582	761	76.48%	637	91.37%
	小 計	1,038	1,256	82.64%	1,176	88.27%
特 殊 等	特 殊	263	327	80.43%	254	103.54%
	バ ス	35	35	100.00%	47	74.47%
	小 計	298	362	82.32%	301	99.00%
総 合 計		8,623	11,722	73.56%	9,676	89.12%



一社) 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部調べ

3. その他の動向

求人

有効求人倍率

(単位：倍、増減はポイント)

	2025年7月	前月	増減	前年同月	増減
銚子公共職業安定所管内	1.03	0.98	0.05	0.89	0.14
茂原公共職業安定所管内	0.76	0.73	0.03	0.76	0.00
いすみ公共職業安定所管内	1.06	1.12	▲ 0.06	1.14	▲ 0.08
成田公共職業安定所管内	0.93	0.92	0.01	1.00	▲ 0.07
佐原公共職業安定所管内	0.90	0.92	▲ 0.02	0.85	0.05
千葉県	0.95	0.90	0.05	0.93	0.02

有効求人倍率＝有効求人数÷有効求職者数

ハローワーク銚子/茂原/いすみ/成田/佐原 調べ

倒産

【令和7年8月度】

2025年(令和7年)8月度の企業倒産件数は32件、前月比7件増(28.0%増)、前年同月比で5件増(18.5%増)となった。過去10年(2016年以降)の8月単月では最も多い件数となった。負債総額は32億1500万円、前月比12億200万円増(59.7%増)、前年同月比15億4700万円増(92.7%増)となり、過去10年(2016年以降)の8月単月では2017年(平成29年)の33億2000万円に次いで3番目に大きい金額となった。

資本金別では『300万円以上(1000万円未満)』が17件(構成比53.1%)で最多となった。

原因別では『業績不振』が21件(構成比65.6%)で最多、次いで『放漫経営』が5件となった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて倒産した「新型コロナウイルス関連倒産」については3件発生、負債額10億円を超える大型倒産は発生しなかった。

従業員数別では『5名未満』が19件(構成比59.4%)で最多となった。

倒産形態別では『破産』が30件(構成比93.8%)となり、再生型の法的手続きは発生しなかった。

産業別では『建設業』が11件(構成比34.4%)で最多となった。

8月の倒産件数は32件、2025年に入り単月ベースで最も多い件数となった。「コロナ関連倒産」こそ3件にとどまったが、「業績不振」以外に「放漫経営」を原因とする倒産が目立った。助成金や補助金などの不正受給、社会保険未加入の発覚などが挙げられる。また、業種に関しても「貨物軽自動車運送業者」の倒産が相次いだ。コロナ禍以降、ネット通販の普及とともに需要が拡大している業界であるが、物価高とドライバー不足が深刻化するなか、同業他社との受注獲得競争も厳しさを増している。業歴が浅いうえ、過小資本で立ち上げた事業者が多く、今後、本格的に業界内で淘汰が始まれば、倒産件数を高止まりさせる要因の1つとなり得るだろう。

日米交渉の合意によりトランプ関税は一旦落ち着きをみたと考えられたが、合意文書がなく、日米間で認識の相違もあり、注目の自動車及び自動車部品関連は高関税が継続している。自動車関税の引き下げや相互関税の特例措置を適用する大統領令が出される見込みが得られず、8月28日には赤澤経済再生相の訪米中止を発表、事務レベルでの協議が継続される。トランプ関税の行方は依然として不透明で、ウクライナ・中東情勢も終息の目途は立たず、地政学的リスクが解消される見通しは立っていない。大手自動車メーカー各社はすでに大幅な減益(もしくは赤字)を強いられ、今後、さらに業績が下振れするリスクもある。

東京商工リサーチが7月に実施した企業向けアンケートによると、県内企業の多くは「自社の今期の業績にマイナスの影響はない」と回答。ただ、トランプ関税が今後の日本経済に対して「少し後退させる」「後退させる」と回答した企業は85%を超えた。トランプ関税は自社の業績を急激に悪化させるまでの影響はないものの、将来的には「ネガティブな事象」と捉える企業が多かった。

コロナ禍とは異なり、現状は業績不振が続いて財務が大きく毀損した場合、新たな資金調達には困難となる。倒産の予兆がないまま、いわゆる「突然死」のケースが目立ち始めており、様々な再生スキームを活用しながら立て直しを図れるケースは限られている。日経平均株価は高値が続くものの、物価高と先行きの不確実性は解消されず、企業業績や個人消費に力強さは感じられない。消耗戦が激しさを増すなか、当面、中小企業者を中心とした企業倒産は高止まりの推移が見込まれる。

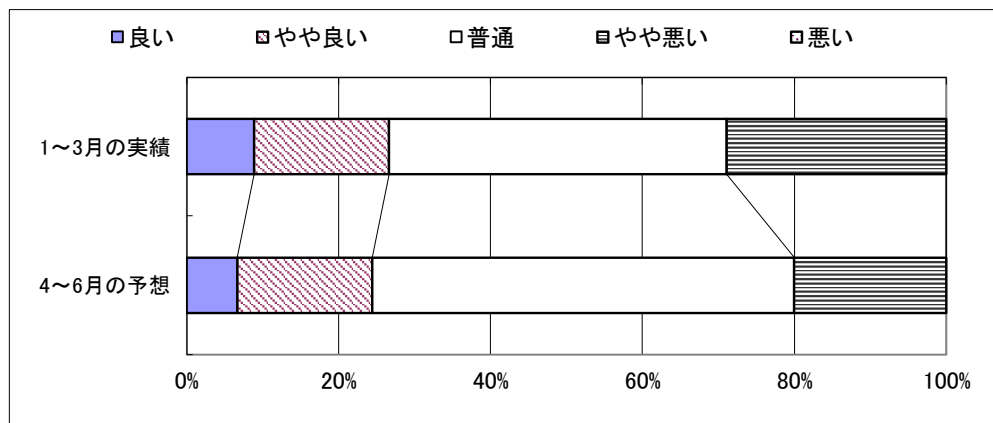
(株)東京商工リサーチ・千葉県内企業倒産状況より

特集 第201回全国中小企業景気動向調査 当金庫分集計速報

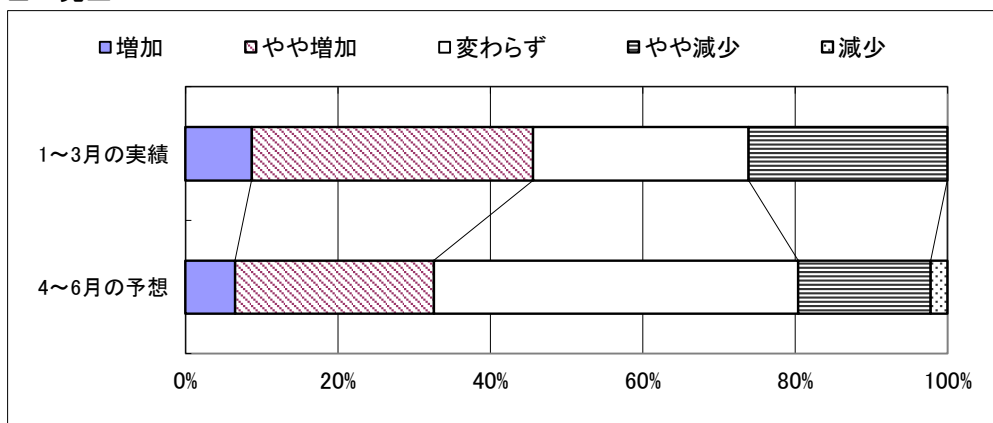
本調査は全国各地の信用金庫において、年4回、四半期ごとに対象先企業の景気動向を聴き取り調査し、信金中央金庫が分析・集計しているものです。

当金庫の対象先は営業店23店舗の顧客48先で、内訳は製造業19先、卸売業8先、小売業7先、サービス業4先、建設業6先、不動産業4先となっています。全国の集計結果は後日公表されますが、今回は5月初旬に行った当金庫の調査対象先の集計を、速報として掲載します。

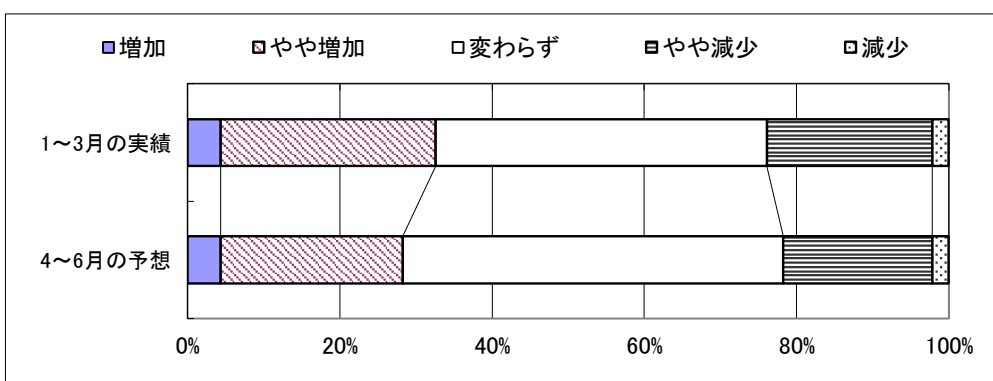
■ 業況



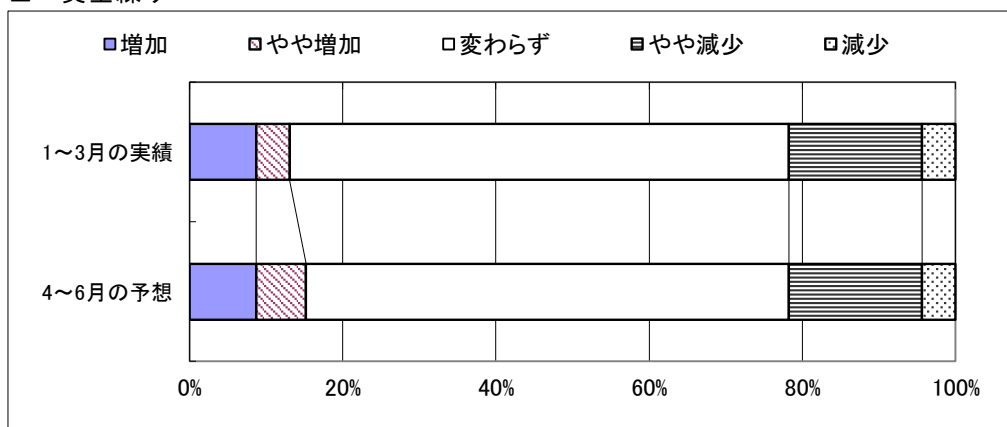
■ 売上



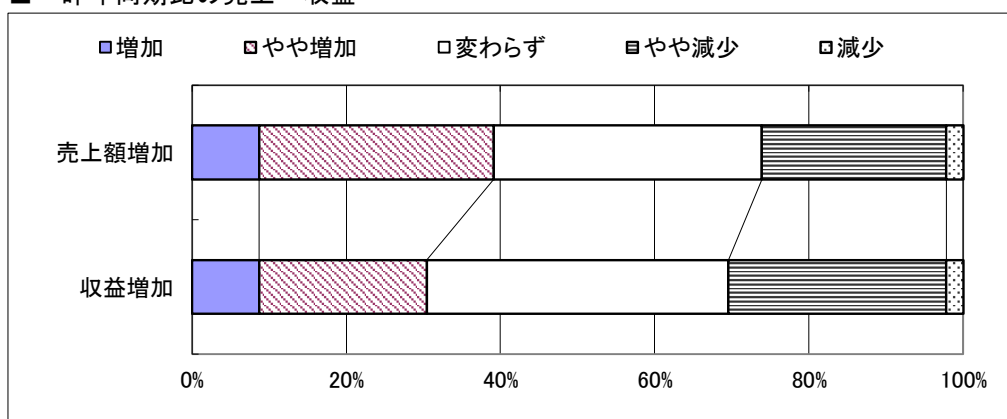
■ 収益



■ 資金繰り



■ 昨年同期比の売上・収益



経営上の問題点（業種別上位項目）

製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
■人件費の増加 ■原材料高 ■人手不足 ■工場・機械の狭小・老朽化	■人件費の増加 ■売上の停滞・減少 ■同業者間の競争の激化 ■人手不足	■利幅の縮小 ■売上の停滞・減少 ■同業者間の競争の激化 ■仕入先からの値上げ要請	■売上の停滞・減少 ■人手不足 ■人件費の増加 ■利幅の縮小	■人手不足 ■材料価格の上昇 ■人件費の増加 ■問題なし	■売上の停滞・減少 ■同業者間の競争の激化 ■商品物件の不足 ■商品物件の高騰

当面の重点経営施策（業種別上位項目）

製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
■販路を広げる ■人材を確保する ■経費を節減する ■機械化を推進する	■販路を広げる ■経費を節減する ■人材を確保する ■情報力を強化する	■仕入先を開拓・選別する ■品揃えを改善する ■売れ筋商品を取扱う ■宣伝・広告を強化する	■経費を節減する ■人材を確保する ■販路を広げる ■宣伝・広告を強化する	■人材を確保する ■技術力を高める ■経費を節減する ■情報力を強化する	■販路を広げる ■情報力を強化する ■提携先を見つける ■機械化を推進する

銚子市漁業協同組合
銚子商工会議所
株式会社 東京商工リサーチ
国土交通省 統計情報
一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部
独立行政法人 農畜産業振興機構
JA全農たまご 株式会社
株式会社千葉日報社
株式会社水産経済新聞社
ハローワーク銚子
ハローワーク茂原
ハローワークいすみ
ハローワーク成田
ハローワーク佐原
(順不同)

※ その他掲載データは当金庫独自の調査によるものです。

発行；銚子信用金庫
編集；地域サポート部
住所；〒288-8686 銚子市双葉町5-5
電話；0479-21-5522
FAX；0479-24-4591
E-mail；suishin@choshi-shinkin.co.jp
URL；http://www.choshi-shinkin.co.jp



ちようしんきん 相談会・セミナーのご案内



ちようしんきんでは、(一社)千葉県中小企業診断士協会と連携した経営相談会や、千葉県事業承継・引継ぎ支援センターと連携した事業承継に関する個別相談会を、営業エリア内の各地で開催しています。

また、法律や税務等に関する無料相談会を本店で毎月開催しています。いずれも、ご参加・ご相談は無料です。お気軽にご参加ください。

経営相談会

- ◆2025年6月18日(水)——開催場所：本店
- ◆2025年8月20日(水)——開催場所：旭中央支店
- ◆2025年10月15日(水)——開催場所：東金支店
- ◆2025年12月17日(水)——開催場所：大原支店
- ◆2026年2月18日(水)——開催場所：神栖支店

事業承継に関する個別相談会

- ◆2025年7月16日(水)——開催場所：大原支店
- ◆2025年9月17日(水)——開催場所：神栖支店
- ◆2025年11月19日(水)——開催場所：本店
- ◆2026年1月22日(木)——開催場所：旭中央支店
- ◆2026年3月18日(水)——開催場所：東金支店

自社製品の競争力が低下
売り上げが減少

原材料の調達に
支障をきたしている
重要な部材が手に入らないなど

さまざまな要因が重なり
事業縮小を検討

納期の延長要請により
過剰在庫

生産調整の要請があり
受注量減少

さまざまな要因が重なり
資金繰りが困窮

＝こんな＝

お悩み

**米国関税措置等の影響で
お困りごとはありませんか？**

お気軽にご相談ください！

米国関税措置等相談窓口を全店*に設置しました

*直接お受けできない店舗もございます。詳細は最寄りの店舗にお問い合わせください



銚子信用金庫